

[第678回 ラジオ大阪番組審議会議事録]

1. 開催日時 令和7年6月11日（水） 午後2時00分～3時00分

2. 開催場所 ラジオ大阪 大会議室

3. 委員の出欠 委員の総数 5名

出席の総数 5名

出席委員の氏名 成瀬 國晴 河内 厚郎
鎌田 雅子 岸本 佳子
鳴海 勝（書面参加）

放送事業者側出席者の氏名

吉野 達也 上野 慶子
志知 直哉 坂田 祐介

4. 議題

1) 番組審議 『土曜クラウン劇場 一条貫太ご昭和ねがいます!』

2) その他

5. 議事の概要

議題1) 『土曜クラウン劇場 一条貫太ご昭和ねがいます!』について、番組の企画意図と内容を説明し、審議に入った。

社側 2025年4月5日放送開始。パーソナリティは日本クラウン所属の演歌歌手 一条貫太。千葉県出身、2018年に歌手としてデビュー、キャッチフレーズは『平成生まれの昭和なボイス!』。自身の新曲PRのほか、アナログレコード収集が趣味であることから、レコードプレイヤーをスタジオに用意し、本人のコレクションやラジオ大阪に保管されているレコードから1枚選び、自らの手でレコードに針を落とすコーナーを設けています。平成生まれながら、昭和の文化が好きな一条貫太のキャラクターを知ってもらい、番組を通して新たなファンの獲得を目指します。

今回ご審議いただく内容は2025年4月26日、5月24日の放送から抜粋したものです。よろしくお願い申し上げます。

委員 一条貫太の魅力を上手く伝える事ができている番組である。とにかく声がいい。話すテンポやトーンも良く、聞いていて心地よかった。メインコーナーである「貫太のカンタフルワールド」では、一条貫太が選んだ昭和歌謡のレコードをかけるという流れ。音源がレコードなので、CDとは一味違った、かすれた音が昭和の雰囲気を出して出ていてよかった。若手演歌歌手が昭和歌謡を紹介する番組は、昭和歌謡世代だけでなく、幅広い層に刺さる番組だと感じた。

委員 フリートークはまだ慣れていないのかと思った。話の焦点がぼやけているように感じた。もっとも、車などで聴くには、そこまで気にならないのかもしれない。歌にまつわるエピソードや、演歌歌手ならではの分析なども聞きたいと思った。後半の「趣味の時間」は、趣味がレコード収集とあって、取り出すときの「あけたときにレコードのにおいがするんですよ」というセリフは、さすが趣味の人だなあと思った。レコードなので、曲のスタートを探すのも難しい。その様子が伝わってきて、味わいがあった。

委員 演歌の世界はまだまだ需要があり、色々な意味で奥が深く、演歌のディープな世界を聞いてみるとおもしろいと思った。テレビではできないことでも、ラジオならできることが色々あるのではと期待している。一条貫太さんのトークも軽快で明るく、曲も新旧聞くことができ、リスナーにとっては満足のいく番組だった。演歌にあまり興味がない私でも楽しく聞く事ができ、30分という長さもちょうどよかった。

委員 トークは色々な話が展開されるが、準備が足らず漠然としている。ところどころおもしろい話があるのに、オチまでいかずに終わってしまっていて、そこから話が広がればおもしろくなるのではないかな。演歌がどのようなものか、歌詞の地名や歌の特徴などの突っ込んだ話や、「河内遊侠伝」の彼なりの解釈をまとめてみるなどが必要だ。大阪の歌をもっと取り上げてみるのもおもしろいと思う。

委員 昭和を漂わせ、一条貫太さん自身がレコードに針を落として曲を流して、非常にやわらかい音で曲が聞けるのは懐かしく感じる。CDとはまた違ったやわらかさがあって非常に楽しみにしている。特に「貫太のカンタフルワールド」は目玉コーナーになると思うので、ここはしっかり自分の感性で、若い人にも昭和を感じてもらい、意識的に昭和の雰囲気を出していってほしいと思う。

社 側 貴重なご意見、ありがとうございました。

以上

6. 審議会の答申又は改善意見に対してとった措置および年月日
な し

7. 審議会の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表内容・方法及び年月日

- ・「番組審議会だより」 （第678回ラジオ大阪番組審議会議事録の要約）

「ラジオ大阪番組審議会レポート」 内で放送

放送日 令和7年7月20日（日）6時10分～6時15分

- ・「番組審議会だより」 （第678回ラジオ大阪番組審議会議事録）
ラジオ大阪ホームページ（<http://www.obc1314.co.jp>）に掲載
- ・ 番組審議会の議事録の原本は事務局立ち会いのもと閲覧に応じる。

8. その他の参考事項

訂正放送または取り消しの放送の請求及び請求に対しての措置が無い旨を報告。

以上